

## 公募型研究事業 (ウナギ種苗飼育実証試験)

仁部玄通, 矢野浩一, 池田祐介

国立研究開発法人 水産研究・教育機構（以下、水産機構）は、これまでにニホンウナギの種苗生産技術を開発し、世界で初めてシラスウナギの生産に成功した。現在、年間数千尾程度の生産は可能となっているが、年間1億尾超と言われる国内需要とは大きな隔たりがある。そこで水産機構を中心に国内の各機関が参画し、ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証試験に取り組んでいる。当センターは人工シラスウナギの種苗性を検証することを目的に飼育試験を実施した。

天然シラスウナギと人工シラスウナギを同一条件で飼育し、餌付き状況等を比較するとともに、人工シラスウナギについては形態異常が成長に与える影響等その種苗性を検討した。

本事業は、平成31年度水産庁委託事業「ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証事業」により実施した。